



東京都行政書士会 八王子支部 広報

行政はちおうじ・ひの

発行所 東京都行政書士会八王子支部
発行人 中塚良二
〒192-0056 東京都八王子追分町9番11号
TEL 042-686-3425
FAX 042-623-9516
八王子支部ホームページURL
<http://gyoseisyosi.net/>

新支部長インタビュー

広報部としましては、会員の方の生の声を、皆様に発信出来ればと思ひましてインタビュー記事を積極的に掲載していきたいと考えております。

そこで、令和元年度の第一弾としまして4月より行政書士会八王子支部の支部長にご就任されました中塚良二氏にインタビューにご協力いただきました。

——中塚支部長、本日はお忙しい中ありがとうございます。

中塚支部長「よろしくお願ひします。」

——支部長は3月より就任された訳ですが、会員の方々は支部長がどのような方なのか、興味がある人達もたくさんいらっしゃると思ひます。

まずは支部長の行政書士になれる前の経歴をお聞かせ下さい。

「私は大学を卒業後、八王子市内の家電メーカーに就職し、会社員として25年間勤務しました。」

——会社で携わられていた業務はどの様なものだったのですか？

「家電製品、スポーツ用品、ブランド品販売を経験した後、商品の仕入れを担当し、ブランド品のバイヤーとして海外で買い付けなども経験しました。」

——海外で買い付けですか。すごいですね。場所はイタリアとか、フランスとか……

「そうですね。」

——行政書士になられたのは？

「48歳を前に会社を退職し、2回目で行政書士試験に合格し現在に至っています。」

——勉強は独学でされたのですか？

「ほぼ独学です。必死で勉強しました。」

——次に、支部長が普段行っている行政書士業務をお聞かせ下さい。

「主に建設業許認可関連、産業廃棄物許可関連、福祉サービス事業所関連、自動車関連などの業務です。」

——この度、支部長になられて八王子支部をどのようにしていきたいと思いますか？ぜひ抱負をお聞かせ下さい。

「支部活動の中心は、私はやはり行政書士以外の方々に行政書士業務を知ってもらうことだと思います。」



- 確かに、行政書士って一体何をする人なの？　とあってらっしゃる方は多いと感じます。
「そうですね。そこで街頭相談等の今まで積み上げてきた PR 活動は継続して推進すると共に、新たに販促ツールなどを作成・配布するなどして行政書士会八王子支部の露出度を上げて行きたいと思っています。」
- 広報部の役割は重大ですね！
「(笑) それと共に、支部 HP を活用する事により紙媒体を徐々に減らして支部業務全体の効率化を図る事も目標にしています。」
- 広報部としましても、HP はだいたいぶ情報をリアルタイムに発信できるような体制を整えました。以前よりも会員の皆様に情報提供の充実が図られてきたのではないかと考えております。
「確かに、紙で見たいとの声もご意見として伺っていますが、HP の利便性をさらに向上させ、会員の方々への支部活動内容の見える化を図っていきたくと考えております。」
- 広報部でも HP の機能はさらに充実させていきたいと考えております。
支部活動内容の見える化というお話しが出ましたが、支部長ご自身は八王子支部と支部会員の関わり方について、どのようなお考えをお持ちですか？
「確かに八王子市、日野市に事務所を置き業務を行うためには八王子支部への加入が義務付けられています。」
- 確かに、加入しなければ業務が行えない前提ですね。
「ただ、そういう意味での関わりだけでは支部を身近に感じられないと思います。現在も行事に参加される会員の方は多いとはいえない状況です。」
- 行事ごとにお会いするのは、同じような顔ぶれの方々だと感じることはあります。
「先程の支部会員への情報の共有も手段の一つですが、支部としましても気軽に支部活動に参加しやすい環境整備をしていくことも必要になると考えています。」
- 最後に、行政書士業務の将来性について、お聞かせ下さい。
「最近 IOT の普及により、行政書士業務が減少するとの見方もあり、私も間違った見方ではないと思います。
3年ぐらい前、某シンクタンクのアナリストが10～15年後には業務の93%が消滅するであろうと書いた記事を見た事があります。」
- その情報をお聞きすると、厳しい状況ですね。
「おそらく、作業の代行だけの業務は厳しい状況に陥るでしょう。」
- 行政書士の将来は多難ですかね。
「しかし、状況が変われば新たな業務も当然発生してきますので、減っても2割程度ではないでしょうか。
むしろ、大事なのは業務を作り出す創意工夫になってくるのかもしれない。」
- 本日は、いろいろお話をお聞かせいただきありがとうございました。
「ありがとうございました。」

支部のうごき

八王子支部定時総会・大会開催 平成31年4月20日



定時総会の方は会員総数 223 名（会員権停止中の 3 名を除く）のうち出席者 151 名（内訳：当日出席者 52 名、「出席者の議決に従う」旨の書面を提出したもの 99 名）にて定時大会の方は会員総数 193 名のうち出席者 136 名（内訳：当日出席者 49 名、「出席者の議決に従う」旨の書面を提出したもの 87 名）にて開催されました。

その中で、行政書士会八王子支部支部長に中塚良二氏、東京行政書士政治連盟八王子支部長に塚本富男氏が選任され、同時に新たな役員も選任されて新体制がスタートしました。

特に今年度の定時総会は、活発な質疑応答がなされました。

八王子古本まつり相談会実施 令和元年5月3日・4日



3 日の相談件数は 26 件（内訳：遺言相続 21 件、成年後見 3 件、離婚・家族問題 2 件）4 日の相談件数は 8 件でした。内容は、やはり遺言や相続手続きに関するものが多いですが、中に信託に関する事の相談など新しい傾向の相談もありました。

成年後見に絡む相談ではもちろんですが、遺言・相続の相談の中でも認知症に関する備えで悩まれている方も多く見受けられました。

やはり、古本まつり会場での相談会は通りがかりでふらりと立ち寄られる方も多く、普段法律相談は敷居が高く感じてらっしゃる市民の方にも相談していただける貴重な機会になっていると感じます。

令和元年度第一回研修会

令和元年7月30日



東京都行政書士会八王子支部 令和元年度第一回研修会がクリエイトホール5階展示室にて開催されました。

研修テーマは「事例から学ぶ行政書士業務～4人の士～」とし、入管業・建設業・産廃業・市民法務、と、4業種につきお一人ずつ講師をお招きし、当支部所属の計4人の講師の方々にご協力頂きました。

この度の研修会の目的は、申請手引きやマニュアル等で得られる知識ではなく、実務を経験していく中で得られる知識や情報を、それぞれの体験談や実例をもとに講師の方々よりお話しいただき、そして、グループワークを用いて受講者自らも考える時間を設けることで、双方向型の研修会となるよう企画いたしました。

一つの事例に対するの考え方もお一人お一人が違うこともあり、それぞれのグループで活発な意見交換が行われていました。

令和元年度納涼会

令和元年7月30日




マロウドイン八王子にて、納涼会が行われました。

納涼会には新入会員6名を含む、51名もの支部会員にご参加いただき、盛況な集いとなりました。新入会員には、今後着手してみたい業務を踏まえて自己紹介をしていただきました。豊富なキャリアを持った新入会員の皆様を迎え、八王子支部がますます活性化することを期待しております。

また、八王子支部ソフトボールチーム“ハッピーズ”への募金の呼びかけを行ったところ、多くのご寄付にご協力をいただき、感謝いたします。

今後の予定

- 
- 令和元年度 9月14日 新入会員歓迎オリエンテーション
 - 9月21日 多摩地区支部長懇話会
 - 10月 1日 令和元年度第2回支部研修会
 - 10月12日 八王子古本まつり
 - 10月13日 八王子古本まつり
 - 11月 9日 日野産業まつり
 - 11月10日 日野産業まつり
 - 11月20日 研修旅行（第3回研修会）
 - 12月11日 第4回研修会／令和元年度忘年会
 - 1月18日 支部賀詞交歓会

ハッピーズより

ソフトボールチーム「ハッピーズ」選手募集！

ご存じですか？ 毎年秋に実施されている東京都行政書士会の支部対抗ソフトボール大会っていうのがあるんですよ！

それに、八王子支部も「ハッピーズ」というチーム名で毎年参加しています。「ハッピーズ」・・・八王子の「八」と日野の「日」を合わせてハッピー、幸せのハッピーということで、けっこうイケてるチーム名ですよ！

チームの実力は・・・潜在能力は非常に高いのですが、なぜか運悪く、様々な事情で勝利にはなかなか恵まれず、やっと昨年度の大会で初勝利をあげたばかりです。

どうか、皆さん、ハッピーズに力を貸してください！

ソフトボールや野球の経験者でなくても、元気と八王子支部愛があればぜんぜんOK！興味のある方は、チーム監督の中塚（支部長）、チームリーダーであり不動の4番の上田（副支部長）、その他、ムードメーカーの一柳（厚生部長）あたりに声をかけてください。ウェルカムです！



「ハッピーズ」活動レポート

「気迫ある感動のプレー」(練馬支部「練馬ベガサス」戦)

ランニングホームランを打った和田信仁郎先生が、3塁をまわったところで片足を故障！動く方の片足でケンケンしながらホームベースへと向かう途中、その片方も故障(泣)

歩くことすらできなくなり、ホームベースまでの残り数メートルは、腕だけで這って進み1点追加。

そのまま救急車で病院に運ばれましたが、両足靭帯断裂の重傷でした。

勝敗のかかった場面で、和田信仁郎先生の絶対に点を取る！という気合と根性に感動しました。

最後はみんなで記念写真！



ソフトボールという仕事とは違った目的で、支部の仲間が集まり、練習して試合に挑む…仕事に関わりだけではわからない互いのことを、スポーツを通して知る……試合の後には、勝っても負けても楽しいうちあげの席があり、さらに親睦を深める……まだ参加したことのない支部会員の皆さん、選手として、または応援団として、是非ご参加ください！待っています！



広報部

西田 池田 岡本 長岡 山本 松浦